

抗 DYKDDDDK タグ抗体（ヒト・M2）HRP 融合

作成日 2025 年 11 月 7 日

製品コード	FLH-01-1-200, FLH-01-1-50
クローナリティー	モノクローナル（リコンビナント）
可変領域配列	マウス（クローン：M2）
定常領域配列	ヒト IgG1
発現系	CHO-Spica（無血清培地）
標識	HRP（遺伝子レベルで融合し発現）
アプリケーション	ウェスタンブロット（1：1000～5000）
性状	液体
内容量	200 μ L（FLH-01-1-200）, 50 μ L（FLH-01-1-50）
精製方法	Protein A
保存バッファー	PBS（pH 7.4）：グリセロール＝1：1
保存条件	−20℃で保管

【適用アプリケーション】

- ・ ウェスタンブロット：1/1000～1/5000

※研究用。ヒト及び動物の診断・治療、その他の特殊な条件下では、使用しないで下さい。

【使用方法】

以下の手順はあくまでも例になります。最良の結果を得るためには、各使用者で適切な希釈倍率を決定することを推奨します。

ウェスタンブロット

1. トランスフェクションを行った細胞を 1×10^6 細胞分回収し、PBS で洗浄する。
2. 回収した細胞に RIPA バッファーを 1 mL 加え、細胞溶解液とする。
3. 細胞溶解液 10 μ L をアセトン沈殿法で沈殿させ、レムリーサンプルバッファー（ $\times 4$ ）を 5 μ L 加えて溶解する。

4. 3. の溶液に、ジチオトレイトール溶液（終濃度 100 mM）と超純水を加え合計 20 μ L にして、70℃で 10 分間加熱する。
※取得データ例ではトランスフェクションを行っていない CHO 細胞で調製した細胞溶解液に C-term. DYKDDDDK-tagged Protein をそれぞれ 10 ng、5 ng、2.5 ng を添加、および未添加（代わりに超純水を添加）で行った。
5. SDS-PAGE を行う。手順・条件は使用する機器や条件に適した条件で行う。
6. タンパク質をゲルからポリフッ化ビニリデン（PVDF）メンブレンに移す。手順・条件は使用する機器や条件に適した条件で行う。
7. 2%ブロッキング剤（ECL™ Prime Blocking Reagent, Cytiva, RPN418）in TBS-T（以下ブロッキングバッファーと記載）にメンブレンを浸し、室温で 30 分間振盪する。
8. ブロッキングバッファーで本製品を 1/1000～1/5000 に希釈した溶液にメンブレンを浸し、室温で 60 分間振盪する。
9. TBS-T でメンブレンを 3 回洗浄（5 分間→10 分間→10 分間）する。
10. 発光検出試薬（ECL™ Prime Western Blotting Detection Reagent, Cytiva, RPN2232）をメンブレンにかける。
11. 化学発光撮影装置で撮影する。

<取得データ例>

